

『寛骨臼回転骨切り術術後症例の治療成績への 影響因子についての後ろ向き研究』についてのご説明

1. 研究の目的

当院では寛骨臼形成不全の患者さんに寛骨臼回転骨切り術を行っています。術後の感染症や骨折などの問題点、また、術後の疼痛・関節変性の進行を減らすため、当院では寛骨臼回転骨切り術の術後成績向上のための研究を行っています。寛骨臼回転骨切り術による成績向上を目標としています。

2. 研究の方法

- 対象となる患者さん

1990年1月1日から2016年12月31日までに当院の整形外科にて寛骨臼回転骨切り術を受けた患者さんが該当します。

- 利用するカルテ情報

年齢、性別、罹患側、画像所見、手術時理学所見、術後のQOL調査票を使用します。

- 研究期間

病院長承認日から平成33年3月31日です。

過去の資料を用いるため、患者さんに新たな検査を行うことはありません。

3. プライバシーの保護

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

4. 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

この研究へのご自分の診療情報の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。調査期間中であってもいつでもお断りいただけます。

その場合は、下記担当医にお申し出ください。

〒 060-8543 札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学医学部 生体工学・運動器治療開発講座 特任教授 名越 智 (研究責任者)

札幌医科大学整形外科学講座 助教 館田 健児

札幌医科大学整形外科学講座 助教 小助川維摩

月-金 9:00-17:00 : 電話 011-611-2111 内線 33330 (整形外科学講座)

時間外・休日の連絡先 : 電話 011-611-2111 内線 33410 (8階 南病棟)